

令和2年6月8日

一般社団法人日本補償コンサルタント協会 東北支部
支部長 安孫子 健一 様

一般財団法人 3. 1 1 伝承ロード推進機構
代表理事 今村 文彦



東日本大震災の記録の伝承について（お願い）

平素より、一般財団法人3. 1 1 伝承ロード推進機構（以下、「伝承機構」と言う）の活動に格別なご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和元年8月1日に産学官民からなる伝承機構が設立され、行政の取り組みとも連携しながら防災力の向上と被災地の活性化を図るための活動を開始したところでございます。

昨年11月には、「3. 1 1 伝承ロード研修会」として全国より約70名の参加を得て、被災地を巡り、震災当時の状況や災害への備えを学んでいただくとともに、これまでの復旧・復興の歩みについてもご理解を深めていただきました。

この研修会では、復旧・復興の経緯等に関する説明の評価が高く、これらの取り組みを発展させていくためには、発災当初から現在まで復旧・復興に携わってきた建設業界の担当の皆様方の貴重な経験・体験のご説明が効果的と考えております。

つきましては、東日本大震災の経験や記憶を貴重な教訓として語り継ぐ語り部を募集しますので、候補者のご推薦について会員各社へのご周知を何卒よろしくお願い申し上げます。

記

1. 締 切 日 令和2年7月31日（金）（それ以降も随時受付いたします）
2. 提出方法 FAX 又は Mail にて
3. 提 出 先 一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構
FAX : 022-393-4271
Mail : info@311densho.or.jp
4. 提出内容 別紙（語り部候補者調査票）

一般財団法人 3. 1 1 伝承ロード推進機構 山崎、伊東
〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町 3-2-26 コンヤスビル 3階
TEL 022-393-4261 FAX 022-393-4271

語り部の募集について

1. 目的

東日本大震災より9年が経過し、東北の各地では震災伝承施設の整備が進み、来訪者に震災の実情や教訓を伝えていくことが求められています。また語り部による伝承活動も被災地の住民により継続的に行われています。

その中で、復旧復興事業の進展とともに、震災当時の緊急対応や応急復旧を含めたインフラ整備など、建設業関係者の活躍、伝える活動の必要性も高まっています。

そこで、建設業関係者の当時の対応として、苦渋の決断、不眠不休の活動、被災地の惨状といった、貴重な体験、知見について、東日本大震災を知らない建設業関係者だけでなく広く一般市民を含めた多くの方に語り継ぐ(発信)ことを目的に、語り部を募集します。

語り部の方には、伝承機構が企画する研修会において、語り部、講師、説明ガイドとしてご活躍いただきたいと考えております。

2. 活動イメージ

- ① 座学:語り部(講師)として、東日本大震災の様々な活動に携わられたご経験、そこから得た知見、教訓を語る。
- ② 現地説明:説明ガイドとして、研修参加者の皆様に同行し、復旧復興のご説明や、ご自身が携わった工事現場の説明。
- ③ 資料提供:講話のための資料、パネル等の作成に関する情報提供や協力。

3. 活動に当たって必要となる経費は伝承機構がお支払いします。
4. 具体的な活動(日程・場所・内容)については、希望する語り部の方とご相談の上決定します。(説明用ツールの作成についても伝承機構がご相談に応じます。)
5. 活動をお願いする期間は2年間とします。ただし更新も可能です。
6. 東北地方整備局が東日本大震災の記録資料等を調査・収集していますが(別添)、これらの説明が可能な方にも、適宜ご応募お願いいたします。(この場合には、その旨調査票へご記入いただき、整備局への提出資料も合わせてご提出下さい。)
7. 提出いただいた語り部の個人情報は、個人情報保護法に則り、皆様からご提供いただいた個人情報を適正に管理いたします。また、個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏洩等について適切な安全対策を講じるとともに、万一の発生時には速やかな是正措置を実施いたします。